第３章－７．『原価』元帳データの考え方

AToMsQube での元帳データの作成方法について記載します。
元帳作成の機能全体図、処理の流れ、関連項目については第２章「2-10.原価管理」を参照下さい。

元帳は各サブシステムの実績処理から作成される受け払い情報を元に、各社指定した評価法(※)により実績原価を算出し、補助元帳(材料、仕掛、製品、工場外)を作成します。

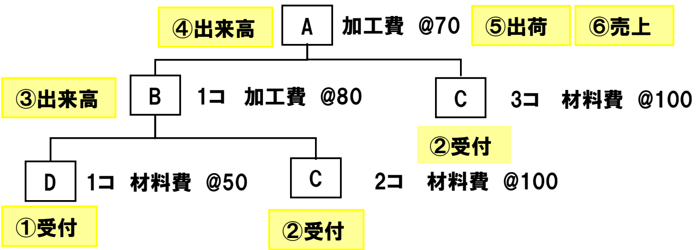
※評価法の種類

１．先入先出し法　２．総平均法　３．移動平均法　４．最終仕入単価法　５．予定単価法

※評価法の詳細内容は、第２章「原価管理」又はオンラインヘルプを参照下さい。
設定の具体的内容は以下に記載します。

元帳データのイメージと元帳用受け払い明細データの内容

各元帳には、子品目の金額が親品目に集約されて表示されます。



イベント	材料元帳		仕掛元帳		製品元帳		工場外製品元帳	
	受入	払出	受入	払出	受入	払出	受入	払出
①Dを1ヶ購入	D@1*50							
②Cを5ヶ購入	C@5*100							
③Bを1ヶ加工完		D@1*50 C@2*100	D@1*50 C@2*100 B@1*80 計330					
④Aを1ヶ加工完		C@3*100		B@1*330	B@1*330 C@3*100 A@1*70 計700			
⑤Aを1ヶ出荷						A@1*700	A@1*700	
⑥Aを1ヶ売上								A@1*700

	受払明細設定条件				登録先							
	在庫管理		発生元		自品目、自元帳種別 ※材料元帳・仕掛元帳、製品元帳の何れ		親品目、親元帳種別		仕掛元帳		KG:工場外製品元帳	
原価発生区分	入出庫処理区分	入出庫区分	サブシステム	発生元機能	受入単価	払出単価	受入単価	払出単価	受入単価	払出単価	受入単価	払出単価
PR:購買入庫	PR:購買入庫	R:入庫	購買	受入報告	検収単価							
DR:直送入庫	DR:直送入庫	R:入庫	購買	受入報告	検収単価							
MR:社内入庫	MR:社内入庫	R:入庫	工程	出来高報告	実績原価							
					払出単価					払出単価		
MR:社内入庫	MR:社内入庫	R:入庫	購買（工程外注）	受入報告(工程外注)	検収単価							
					払出単価					払出単価		
NR:計画外入庫	NR:計画外入庫	R:入庫	在庫	計画外入庫	予定原価							
MJR:無償受給入庫	MJR:無償受給入庫	R:入庫	在庫	計画外入庫	0円作成							
CA:棚卸増分	CA:棚卸増分	R:入庫	在庫	棚卸実績反映	予定原価							
TI:社内出庫	TI:社内出庫	I:出庫	在庫	出庫報告		払出単価	払出単価					
SMI:無償支給出庫	SMI:無償支給出庫	I:出庫	在庫	出庫報告		払出単価	払出単価					
SYI:有償支給出庫	SYI:有償支給出庫	I:出庫	在庫	出庫報告		払出単価	0円作成					
KTI:コック品社内出庫	KTI:コック品社内出庫	I:出庫	在庫	出庫報告	検収単価	検収単価	検収単価					
BI:出来高報告出庫	BI:出来高報告出庫	I:出庫	工程、購買	バックフラッシュ		払出単価	払出単価					
MI:無償支給出来高報告出庫	MI:無償支給出来高報告出庫	I:出庫	工程、購買	バックフラッシュ		払出単価	払出単価					
SDI:仕入先直送出庫	SDI:仕入先直送出庫	I:出庫	工程、購買	バックフラッシュ		払出単価	払出単価					
YI:有償支給出来高報告出庫	YI:有償支給出来高報告出庫	I:出庫	工程、購買	バックフラッシュ		払出単価	0円作成					
KBI:コック品出来高報告出庫	KBI:コック品出来高報告出庫	I:出庫	工程、購買	バックフラッシュ	検収単価	検収単価	検収単価					
CS:棚卸減耗	CS:棚卸減耗	I:出庫	在庫	棚卸実績反映		払出単価						
NI:計画外出庫	NI:計画外出庫	I:出庫	在庫	計画外出庫		払出単価	（払出単価）					
II:移動出庫	II:移動出庫	I:出庫	在庫	在庫移動		払出単価	払出単価					
DI:客先直送出庫	DI:客先直送出庫	I:出庫	出荷売上	出荷報告		払出単価					払出単価	
SI:出荷	SI:出荷	I:出庫	出荷売上	出荷報告		払出単価					払出単価	
KJS:工順仕掛	−	−	工程	出来高報告					実績原価			
									払出単価	払出単価		
URG:売上	−	−	出荷売上	売上登録								払出単価
KIH:経費	−	−	原価	実績経費登録	−						実績経費	

受け払い明細作成時に作成する時に使用される受入単価、払出単価は各実績データ毎に違ってきます。
（上記表を参照下さい）

※受入単価の種類と内容

実績原価

【社内工順の場合】
マン工数×作業チャージ＋マシン工数×機械チャージ
数量単位が重量の場合は、（良品数＋不良数）×重量チャージを加算する

【工程外注の場合】
検収金額
検収金額を変更した場合は、黒伝を使用

検収単価

検収金額
検収金額を変更した場合は、黒伝を使用

注文NO	注文明細NO	発注数	処理回数	受入日	受入数	検収単価	検収金額	検収種別
C001	001	10	1	5/13	2	100	200	黒伝
			2	5/14	3	100	300	黒伝
			3	5/14	-3	100	-300	黒伝
			4	5/15	8	100	800	取消伝
						-100	-800	赤伝
						110	880	黒伝

↓

実績日	受入数	受入金額
5/13	2	200
5/14	3	300
5/14	-3	-300
5/15	8	880

予定原価

累積原価×数量
期初・月次・最新の何れを使うかは、システムパラメータによって決まる。 「計画外入庫評価金額」パラメータ
取得出来なければ0

※払出単価の種類と内容

払出単価　　システムパラメータで設定した評価法により、払出単価を算出する　「棚卸資産評価方法」パラメータ

0円作成　　単価0円で明細を作成する

※　払出単価の具体的な設定内容

評価方法	内容
①先入先出法	先に仕入れたものから順次払い出されたと想定して、期末棚卸資産の評価を行う方法。したがって先入先出法では、期末近くに購入した棚卸資産ほど期末の残るとみなして評価が行われる。
②総平均法	同一種類等ごとに「期首棚卸資産の取得価額の総額」と「その事業年度に取得した棚卸資産の取得価額の総額」との合計額を総数量で割って平均単価を計算し、それをもとに評価する方法。
③移動平均法	同一種類等ごとにその棚卸資産を取得するたびに、そのときまでの取得価額の総額と取得した棚卸資産の取得価額の総額との合計を総数量で割って平均単価を計算し、その事業年度終了の時から最も近い時に取得した時に計算し直した単価をもとに評価する方法。
④最終仕入単価法	最後に仕入れた単価で棚卸資産を評価する方法。 法人税法では認められているが、企業会計原則では認められていないため上場企業では採用不可。
⑤予定単価法	製品一単位あたりの原価（期初原価）で製品の原価を計算する方法。

①－１．先入先出法

払出単価は、受入日が最古の在庫単価使用する

A　M　製品
B　P　部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	受注NO
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	－
10/2	B	受入報告	15個	購買費	1800円	購買入庫(PR)	－
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	－	－	社内出庫(TI)	－
10/4	B	受入報告	10個	購買費	1100円	購買入庫(PR)	－
10/5	B⇒A	出庫報告	10個	－	－	社内出庫(TI)	－

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額	単価
9月末										5	300	60
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費	5	300	60
										20	2000	100
PR	10/2	材料	B	B	15	1800			購買費	5	300	60
										20	2000	100
										15	1800	120
TI	10/3	材料	B	B			[illegible]	[illegible]	購買費	0	0	60
		仕掛	A	B	15	1300			購買費	10	1000	100
										15	1800	120
PR	10/4	材料	B	B	10	1100			購買費	0	0	60
										10	1000	100
										15	1800	120
										10	1100	110
TI	10/5	材料	B	B			10	1000	購買費	0	0	60
		仕掛	A	B	10	1000			購買費	0	0	100
										15	1800	120
										10	1100	110

5×60＋10×100

10×100

①－２．先入先出法(払出し戻し)

払出戻しの単価は、戻し元の単価(払出金額/払出数)を使用する

A　M　製品
B　P　部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	
10/1	B	受入報告	10個	購買費	1000円	購買入庫(PR)	－
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	－	－	社内出庫(TI)	－
10/4	B	受入報告	10個	購買費	1100円	購買入庫(PR)	－
10/5	B⇒A	出庫報告	−15個	－	－	社内出庫(TI)	10/3の戻し
10/8	B⇒A	出庫報告	15個	－	－	社内出庫(TI)	－

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額	単価
9月末										5	300	60
PR	10/1	材料	B	B	10	1000			購買費	5	300	60
										10	1000	100
TI	10/3	材料	B	B			15	1300	購買費	0	0	60
		仕掛	A	B	15	1300			購買費	0	0	100
PR	10/4	材料	B	B	10	1100			購買費	0	0	60
										0	0	100
										10	1100	110
TI	10/5	材料	B	B			−15	−1300	購買費	0	0	60
		仕掛	A	B	−15	−1300			購買費	0	0	100
										10	1100	110
										15	−1300	−87
TI	10/8	材料	B	B			15	1535	購買費	0	0	60
		仕掛	A	B	15	1535			購買費	0	0	100
										0	0	110
										5	435	87

戻し（10/3 → 10/5）

5×60＋10×100

−15×(1300/15)

5×110＋10×87

①－３．先入先出法(受入戻し①)

受入戻しの場合、戻し対象の残数から戻し数を引いて計算する

A	M	製品
B	P	部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	–
10/2	B	受入報告	15個	購買費	1800円	購買入庫(PR)	–
10/2	B	受入報告	-20個	購買費	-2000円	購買入庫(PR)	10/1の戻し
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	–	–	社内出庫(TI)	–
10/4	B	受入報告	10個	購買費	1100円	購買入庫(PR)	–
10/5	B⇒A	出庫報告	10個	–	–	社内出庫(TI)	–

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

⇩

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額	単価
9月末										5	300	**60**
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費	5	300	**60**
										20	2000	**100**
PR	10/2	材料	B	B	15	1800			購買費	5	300	**60**
										20	2000	**100**
										15	1800	**120**
PR	10/2	材料	B	B	-20	-2000			購買費	5	300	**60**
										0	0	**100**
							5×60＋10×120			15	1800	**120**
TI	10/3	材料	B	B			15	1500	購買費	0	0	**60**
		仕掛	A	B	15	1500			購買費	0	0	**100**
										5	600	**120**
PR	10/4	材料	B	B	10	1100			購買費	0	0	**60**
										0	0	**100**
										5	600	**120**
							5×120＋5×110			10	1100	**110**
TI	10/5	材料	B	B			10	1150	購買費	0	0	**60**
		仕掛	A	B	10	1150			購買費	0	0	**100**
										0	0	**120**
										5	550	**110**

戻し

戻し元の残数から戻し数を引く
残数 = 残数 − 戻し数
= 15 − 15 = 0

①－４．先入先出法(受入戻し②)

受入戻しの場合、戻し対象の残数が0になっていたら、
一番古い受入の残数から戻し数を引いて計算する

A	M	製品
B	P	部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	受注NO
10/1	B	受入報告	10個	購買費	1000円	購買入庫(PR)	–
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	–	–	社内出庫(TI)	–
10/4	B	受入報告	20個	購買費	2200円	購買入庫(PR)	–
10/4	B	受入報告	-10個	購買費	-1000円	購買入庫(PR)	–
10/5	B⇒A	出庫報告	5個	–	–	社内出庫(TI)	–

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

⇩

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額	単価
9月末										5	300	**60**
PR	10/1	材料	B	B	10	1000			購買費	5	300	**60**
							5×60＋10×100			10	1000	**100**
TI	10/3	材料	B	B			15	1300	購買費	0	0	**60**
		仕掛	A	B	15	1300			購買費	0	0	**100**
PR	10/4	材料	B	B	20	2200			購買費	0	0	**60**
										0	0	**100**
										20	2200	**110**
PR	10/4	材料	B	B	-10	-1000			購買費	0	0	**60**
										0	0	**100**
							5×110			10	1100	**110**
TI	10/5	材料	B	B			5	550	購買費	0	0	**60**
		仕掛	A	B	5	550			購買費	0	0	**100**
										5	550	**110**

戻し

戻し対象の残数が0のため、
一番古い受入の残数から戻し数を引く
残数 = 残数 − 戻し数
= 20 − 10 = 10

②－１．総平均法

払出単価は、以下の方法で計算する。
払出単価＝（前月残金額 ＋ 当月受入金額累計）／（前月残数 ＋ 当月受入数累計）

A	M	製品
B	P	部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	－
10/2	B	受入報告	15個	購買費	1800円	購買入庫(PR)	－
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	－	－	社内出庫(TI)	－
10/4	B	受入報告	10個	購買費	1100円	購買入庫(PR)	－
10/5	B⇒A	出庫報告	10個	－	－	社内出庫(TI)	－

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

⇩

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額
9月末		材料	B	B					購買費	5	300
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費		
PR	10/2	材料	B	B	15	1800			購買費		
TI	10/3	材料	B	B			15	1560	購買費		
		仕掛	A	B	15	1560			購買費		
PR	10/4	材料	B	B	10	1100			購買費		
TI	10/5	材料	B	B			10	1040	購買費		
		仕掛	A	B	10	1040			購買費		

15×104

10×104

当月受入金額累計 ＝ 2000＋1800＋1100 ＝ 4900
当月受入数累計 ＝ 20＋15＋10 ＝ 45
払出単価＝（前月残金額 ＋ 当月受入金額累計）／（前月残数 ＋ 当月受入数累計）
＝（ 300 ＋ 4900 ）／（ 5 ＋ 45 ）
＝ 104

②－２．総平均法(当月戻し)

払出の戻しの単価は、戻し元の払出単価を使用して計算する

A	M	製品
B	P	部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	
10/2	B	受入報告	15個	購買費	1800円	購買入庫(PR)	
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	－	－	社内出庫(TI)	
10/4	B	受入報告	10個	購買費	1100円	購買入庫(PR)	
10/5	B⇒A	出庫報告	10個	－	－	社内出庫(TI)	
10/6	B⇒A	出庫戻し	−15個	－	－	社内出庫(TI)	10/3の戻し
10/7	B⇒A	出庫報告	5個	－	－	社内出庫(TI)	

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

⇩

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額
9月末		材料	B	B					購買費	5	300
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費		
PR	10/2	材料	B	B	15	1800			購買費		
TI	10/3	材料	B	B			15	1560	購買費		
		仕掛	A	B	15	1560			購買費		
PR	10/4	材料	B	B	10	1100			購買費		
TI	10/5	材料	B	B			10	1040	購買費		
		仕掛	A	B	10	1040			購買費		
TI	10/6	材料	B	B			−15	−1560	購買費		
		仕掛	A	B	−15	−1560			購買費		
TI	10/7	材料	B	B			5	520	購買費		
		仕掛	A	B	5	520			購買費		

戻し

15×104

10×104

10/3 払出単価 ＝ 104
−10×104

5×104

②－３．総平均法(前月戻し)

前月の払出の戻し単価は、戻し元の払出単価を使用して計算する

当月の払出単価は、前月残から前月の戻しを足して計算する

払出単価＝（前月残金額 ＋ 前月戻し金額累計 ＋ 当月受入金額累計）/（前月残数 ＋ 前月戻し数累計 ＋ 当月受入数累計）

A M 製品
B P 部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	−	−	社内出庫(TI)	
10/4	B	受入報告	10個	購買費	1200円	購買入庫(PR)	
11/6	B⇒A	出庫戻し	−15個	−	−	社内出庫(TI)	10/3の戻し
11/7	B	受入報告	5個	購買費	1300円	購買入庫(PR)	
11/8	B⇒A	出庫報告	5個	−	−	社内出庫(TI)	

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

11月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	20	2000	購買費

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額
9月末		材料	B	B					購買費	5	300
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費		
TI	10/3	材料	B	B			15	1500	購買費		
		仕掛	A	B	15	1500			購買費		
PR	10/4	材料	B	B	10	1200					
10月末		材料	B	B						20	2000
										35	3500
TI	11/6	材料	B	B			−15	−1500	購買費		
		仕掛	A	B	−15	−1500			購買費		
PR	11/7	材料	B	B	5	1300					
TI	11/8	材料	B	B			5	600	購買費		
		仕掛	A	B	5	600			購買費		

戻し

15×100

(10/3 払出単価 = 100)
−15×100

5×120

【11月払出単価計算】

当月受入金額累計 ＝ 1300 当月受入数累計 ＝ 5

払出単価＝（前月残金額 ＋ 前月戻し金額累計 ＋ 当月受入金額累計）/（前月残数 ＋ 前月戻し数累計 ＋ 当月受入数累計）

＝ (2000 ＋ 1500 ＋ 1300) / (20 ＋ 15 ＋ 5)

＝ 120

③－１．移動平均法

払出単価は、払出日ごとに以下の方法で計算する。

A M 製品
B P 部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	受注NO
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	−
10/2	B	受入報告	15個	購買費	1800円	購買入庫(PR)	−
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	−	−	社内出庫(TI)	−
10/4	B	受入報告	10個	購買費	1100円	購買入庫(PR)	−
10/5	B⇒A	出庫報告	10個	−	−	社内出庫(TI)	−

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額	**単価**
9月末		材料	B	B					購買費	5	300	**60.0**
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費	25	2300	**92.0**
PR	10/2	材料	B	B	15	1800			購買費	40	4100	**102.5**
TI	10/3	材料	B	B			15	1538	購買費	25	2563	**102.5**
		仕掛	A	B	15	1538			購買費			
PR	10/4	材料	B	B	10	1100			購買費	35	3663	**104.6**
TI	10/5	材料	B	B			10	1046	購買費	25	2617	**104.7**
		仕掛	A	B	10	1046			購買費			

15×102.5

10×104.6

③－２．移動平均法(当月戻し)

払出の戻しの単価は、戻し元の払出単価を使用して計算する

A	M	製品
B	P	部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	
10/2	B	受入報告	15個	購買費	1800円	購買入庫(PR)	
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	–	–	社内出庫(TI)	
10/4	B	受入報告	10個	購買費	1100円	購買入庫(PR)	
10/5	B⇒A	出庫報告	10個	–	–	社内出庫(TI)	
10/6	B⇒A	出庫戻し	−15個	–	–	社内出庫(TI)	10/3の戻し
10/7	B⇒A	出庫報告	5個	–	–	社内出庫(TI)	

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額	**単価**
9月末		材料	B	B					購買費	5	300	**60.0**
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費	25	2300	**92.0**
PR	10/2	材料	B	B	15	1800			購買費	40	4100	**102.5**
TI	10/3	材料	B	B			15	1538	購買費	25	2563	**102.5**
		仕掛	A	B	15	1538			購買費			
PR	10/4	材料	B	B	10	1100			購買費	35	3663	**104.6**
TI	10/5	材料	B	B			10	1046	購			**4.7**
		仕掛	A	B	10	1046			購			
TI	10/6	材料	B	B			−15	−1538	購買費	40	4154	**103.9**
		仕掛	A	B	−15	−1538			購買費			
TI	10/7	材料	B	B			5	520	購買費	35	3635	**103.8**
		仕掛	A	B	5	520			購買費			

戻し

15×102.5

10×104.6

(10/3 払出単価 = 102.5)
−15×102.5

5×103.9

③－３．移動平均法(前月戻し)

前月の払出の戻し単価は、戻し元の払出単価を使用して計算する
当月の払出単価は、前月残から前月の戻しを足して計算する

A	M	製品
B	P	部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	
10/2	B	受入報告	15個	購買費	1800円	購買入庫(PR)	
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	–	–	社内出庫(TI)	
10/4	B	受入報告	10個	購買費	1100円	購買入庫(PR)	
10/5	B⇒A	出庫報告	10個	–	–	社内出庫(TI)	
11/4	B⇒A	出庫戻し	5個	–	–	社内出庫(TI)	
11/5	B	受入報告	10個	購買費	1100円	購買入庫(PR)	
11/6	B⇒A	出庫戻し	−15個	–	–	社内出庫(TI)	10/3の戻し
11/8	B⇒A	出庫報告	5個	–	–	社内出庫(TI)	

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

11月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	25	2600	購買費

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額	**単価**
9月末		**材料**	**B**	**B**					**購買費**	**5**	**300**	**60.0**
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費	25	2300	**92.0**
PR	10/2	材料	B	B	15	1800			購買費	40	4100	**102.5**
TI	10/3	材料	B	B			15	1538	購買費	25	2563	**102.5**
		仕掛	A	B	15	1538			購買費			
PR	10/4	材料	B	B	10	1100			購買費	35	3663	**104.6**
TI	10/5	材料	B	B			10	1046	購買費	25	2617	**104.7**
		仕掛	A	B	10	1046			購買費			
10月末		**材料**	**B**	**B**					**購買費**	**25**	**2600**	**104.0**
										40	**4138**	**103.5**
TI	11/4	材料	B	B			5	518	購買費	35	3621	**103.4**
		仕掛	A	B	5	518			購買費			
PR	11/5	材料	B	B	10	1100			購買費	45	4721	**104.9**
TI	11/6	材料	B	B			−15	−1538	購買費			
		仕掛	A	B	−15	−1538			購			
TI	11/8	材料	B	B			5	525	購買費	40	4196	**104.9**

戻し

15×102.5

10×104.6

5×103.5

(10/3 払出単価 = 102.5)

−5×102.5

5×104.9

前月残数 ＝ 前月残数 ＋ 前月戻し数
＝ 25 ＋ 15 ＝ 40
前月残金額 ＝ 前月残金額＋ 前月戻し金額
＝ 2600 ＋ 1538 ＝ 4138

④－１．最終仕入単価法

払出単価は、最新単価を使用する

A　M　製品
B　P　部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	受注NO
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	–
10/2	B	受入報告	15個	購買費	1800円	購買入庫(PR)	–
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	–	–	社内出庫(TI)	–
10/4	B	受入報告	10個	購買費	1100円	購買入庫(PR)	–
10/5	B⇒A	出庫報告	10個	–	–	社内出庫(TI)	–

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額
9月末		材料	B	B					購買費	5	300
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費		
PR	10/2	材料	B	B	15	1800		15×110	購買費		
TI	10/3	材料	B	B			15	1650	購買費		
		仕掛	A	B	15	1650			購買費		
PR	10/4	材料	B	B	10	1100		10×110	購買費		
TI	10/5	材料	B	B			10	1100	購買費		
		仕掛	A	B	10	1100			購買費		

④－２．最終仕入単価法(前月戻し)

前月の払出の戻し単価は、戻し元の払出単価を使用して計算する

A　M　製品
B　P　部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	
10/2	B	受入報告	15個	購買費	1800円	購買入庫(PR)	
10/3	B⇒A	出庫報告	15個	–	–	社内出庫(TI)	
10/4	B	受入報告	10個	購買費	1100円	購買入庫(PR)	
10/5	B⇒A	出庫報告	10個	–	–	社内出庫(TI)	
11/4	B⇒A	出庫戻し	5個	–	–	社内出庫(TI)	
11/5	B	受入報告	10個	購買費	1000円	購買入庫(PR)	
11/6	B⇒A	出庫戻し	−15個	–	–	社内出庫(TI)	10/3の戻し
11/8	B⇒A	出庫報告	5個	–	–	社内出庫(TI)	

10月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	5	300	購買費

11月

品目	前月残数	前月残金額	原価要素
B	25	2450	購買費

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額
9月末		**材料**	**B**	**B**					**購買費**	**5**	**300**
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費		
PR	10/2	材料	B	B	15	1800		15×110	購買費		
TI	10/3	材料	B	B			15	1650	購買費		
		仕掛	A	B	15	1650			購買費		
								10×110			
PR	10/4	材料	B	B	10	1100			購買費		
TI	10/5	材料	B	B			10	1100	購買費		
		仕掛	A	B	10	1100			購買費		
10月末		**材料**	**B**	**B**				5×100	**購買費**	**25**	**2450**
TI	11/4	材料	B	B			5	500	購買費		
		仕掛	A	B	5	500			購買費		
PR	11/5	材料	B	B	10	1000			購買費		
TI	11/6	材料	B	B			−15	−1650	購買費		
		仕掛	A	B	−15	−1650			購買費		
									5×100		
TI	11/8	材料	B	B			5	500	購買費		
		仕掛	A	B	5	500			購買費		

戻し（10/3 ⇔ 11/6）

（10/3 払出単価 = 110）
−15×110

⑤予定単価法

予定単価法の期初原価は「原価計算実行」で事前に予定原価を作成しておく必要があります。

予定単価は期初原価を使用して計算する

① 外製品の受入金額

受入金額＝個別原価×受入数

② 子品目⇒親品目への払出金額

払出金額＝子品目の累積原価×払出数

A　M　製品
B　P　部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	
10/2	B⇒A	出庫報告	15個	–	–	社内出庫(TI)	
10/3	A	社内入庫	10個	加工費	1500円	社内入庫(MR)	
10/4	A	出荷	5個	–	–	出荷(SI)	

期初原価

品目	個別原価	累積原価	原価要素
B	100	100	購買費
A	150	150	加工費
A	0	100	購買費

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費		
TI	10/2	材料	B	B			15	1500	購買費		
		仕掛	A	B	15	1500			購買費		
MR	10/3	製品	A	A	10	1500			加工費		
		材料	A	B			10	1000	購買費		
		仕掛	A	B	10	1000			購買費		
TI	10/4	製品	A	A			5	750	加工費		
							5	500	購買費		
		工場外製品	A	A	5	750			加工費		
					5	500			購買費		

20×100
15×100

③ 社内入庫の受入金額

受入金額＝工数×チャージ

④ 仕掛⇒製品の構成品の払出金額

払出金額＝子品目累積原価×払出数

A　M　製品
B　P　部品

入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)
10/2	B⇒A	出庫報告	15個	–	–	社内出庫(TI)
10/3	A	社内入庫	10個	加工費	1500円　←　工数(10H)×チャージ(150円)	社内入庫(MR)
10/4	A	出荷	5個	–	–	出荷(SI)

期初原価

品目	個別原価	累積原価	原価要素
B	100	100	購買費
A	150	150	加工費
A	0	100	購買費

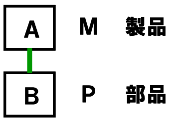
受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額
		材料	B	B	20	2000			購買費		
TI	10/2	材料	B	B			15	1500	購買費		
		仕掛	A	B	15	1500			購買費		
MR	10/3	製品	A	A	10	1500			加工費		
		材料	A	B			10		購買費		
		仕掛	A	B	10	1000			購買費		
TI	10/4	製品	A	A			5	750	加工費		
							5	500	購買費		
		工場外製品	A	A	5	750			加工費		
					5	500			購買費		

10H×150
10×100

⑤出荷の払出金額

払出金額＝累積原価×払出数



入出庫実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	
10/2	B⇒A	出庫報告	15個	–	–	社内出庫(TI)	
10/3	A	社内入庫	10個	加工費	1500円	社内入庫(MR)	
10/4	A	出荷	5個	–	–	出荷(SI)	

期初原価

品目	個別原価	累積原価	原価要素
B	100	100	購買費
A	150	150	加工費
A	0	100	購買費

⇩

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	残数	残金額
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費		
TI	10/2	材料	B	B			15	1500	購買費		
		仕掛	A	B	15	1500			購買費		
MR	10/3	製品	A	A	10	1500			加工費		
		材料	A	B			10	1000	購買費		
		仕掛	A	B	10	1000			購買費		
TI	10/4	製品	A	A			5	750	加工費		
							5	500	購買費		
		工場外製品	A	A	5	750			加工費		
					5	500			購買費		

5×150（払出金額 750）

5×100（払出金額 500）

次に受払い明細データと元帳データをパターン毎に記載します。

- ●1．基本パターン
- ●2．工順仕掛かりパターン
  - ●1．基本
  - ●2．月またがり
  - ●3．工数のみ発生した場合
  - ●4．不良が発生した場合
  - ●5．不良のみ発生した場合

受払い明細データの作成内容は工順仕掛かりのパターンは複数に別れますが、元帳データの作成方法は同一で行なわれます。

また、経費実績を製番毎に登録した場合は、直近の売上実績に付加される内容で登録されます。

1．基本パターン

受払い明細作成

- 入出庫実績、売上実績から受払明細を作成
- 登録先の元帳種別（材料、仕掛、製品）は、品目区分によって決まる
- 親品目へ出庫の場合
  - 親品目が「M」：仕掛元帳へ払出
  - 親品目が「P」：親品目の元帳へ払出
- 出荷の場合は、出荷品目の元帳⇒工場外元帳 へ払出
- 売上の場合は、工場外元帳から払出
- 払出金額は、評価法により算出する

A　M　製品
B　P　部品

入出庫実績、売上実績

実績日	品目	処理内容		発生金額		処理区分	受注NO
10/1	B	受入報告	20個	購買費	2000円	購買入庫(PR)	–
10/2	B⇒A	出庫報告	15個	–	–	社内出庫(TI)	–
10/3	A	出来高報告	10個	加工費	1500円	社内入庫(MR)	–
10/4	A	出荷報告	8個	–	–	出荷(SI)	J0001-001
10/5	A	売上	5個	–	–	売上(URG)	J0001-001

受払明細

		実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	受注NO
1	PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費	
2	TI	10/2	材料	B	B			15	1500	購買費	
			仕掛	A	B	15	1500			購買費	
3	MR	10/3	製品	A	A	10	1500			加工費	
			仕掛	A	B			10	1000	購買費	
			製品	A	B	10	1000			購買費	
4	SI	10/4	製品	A	A			8	1200	加工費	J0001-001
			製品	A	A			8	800	購買費	J0001-001
			工場外製品	A	A	8	1200			加工費	J0001-001
			工場外製品	A	A	8	800			購買費	J0001-001
5	URG	10/5	工場外製品	A	A			5	750	加工費	J0001-001
			工場外製品	A	A			5	500	購買費	J0001-001

① Bの品目区分が「材料」 ⇒ 材料元帳に登録
② 親品目Aが「M」 ⇒ 材料元帳から仕掛元帳へ払出
（親品目Aが「P」 ⇒ 材料元帳から親品目の元帳へ払出）
③ Aの品目区分が「製品」 ⇒ 製品元帳に登録
使用した子品目Bを仕掛元帳から製品元帳へ払出
④ 出荷 ⇒ 製品元帳から工場外元帳へ払出
（Aの品目区分が「部品」の場合、
材料元帳から工場外元帳へ払出）

元帳作成

- 受払明細から元帳を作成する
- 元帳種別、品目、製番単位に数量と金額を集計する
  - 工場外製品元帳は、受注NO単位に集計する
- 仕掛元帳の数量は、完成分の数量を集計する（構成品目の数量はカウントしない）
- 前月残と当月受払から当月残を算出する
  - 当月残 ＝ 前月残 ＋ 当月受入 － 当月払出

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	構成品目	受入数	受入金額	払出数	払出金額	原価要素	受注NO
PR	10/1	材料	B	B	20	2000			購買費	
TI	10/2	材料	B	B			15	1500	購買費	
		仕掛	A	B	15	1500			購買費	
MR	10/3	製品	A	A	10	1500			加工費	
		仕掛	A	B			10	1000	購買費	
		製品	A	B	10	1000			購買費	
SI	10/4	製品	A	A			8	1200	加工費	J0001-001
		製品	A	A			8	800	購買費	J0001-001
		工場外製品	A	A	8	1200			加工費	J0001-001
		工場外製品	A	A	8	800			購買費	J0001-001
URG	10/5	工場外製品	A	A			5	750	加工費	J0001-001
		工場外製品	A	A			5	500	購買費	J0001-001

元帳

	品目	前月残数	前月残金額	受入数	受入金額	払出数	払出金額	当月残数	当月残金額	原価要素
材料元帳	B	5	500	20	2000	15	1500	10	1000	購買費

	品目	前月残数	前月残金額	受入数	受入金額	払出数	払出金額	当月残数	当月残金額	原価要素
仕掛元帳	A	0	500	0	1500	0	1000	0	1000	購買費

	品目	前月残数	前月残金額	受入数	受入金額	払出数	払出金額	当月残数	当月残金額	原価要素
製品元帳	A	3	300	10	1500	8	1200	5	600	加工費
			100		1000		800		300	購買費

	受注NO	品目	前月残数	前月残金額	受入数	受入金額	払出数	払出金額	当月残数	当月残金額	原価要素
工場外製品元帳	J0001-001	A	2	200	8	1200	5	750	5	650	加工費
				100		800		500		400	購買費

２－１．工順仕掛かりの基本パターン

受払い明細作成

- **工順仕掛は、出来高実績から受払明細を作成（仕掛元帳へ登録）**
- **初工順以外の出来高が上がった時**
  - **工順間の受払を作成する**
  - **払出金額は、工順累積金額から按分して算出**
- **最終工順の出来高が上がった時(社内入庫:MR)**
  - **仕掛元帳から製品元帳へ払出**
- **製造オーダー単位で工順間受払を作成**

出来高実績

実績日	工順	良品数	発生金額	処理区分
10/1	010	20	20000	工順仕掛(KJS)
10/2	020	10	1000	工順仕掛(KJS)
10/3	030	5	50	社内入庫(MR)

A　M　製品

工順 010→020→030

受払明細

		実績日	元帳種別	工順	前工順	受入数	受入金額	払出数	払出金額
1	KJS	10/1	仕掛	010	010	20	20000		
2	KJS	10/2	仕掛	020	020	10	1000		
			仕掛	010	010			10	10000
			仕掛	020	010	10	10000		
3	MR	10/3	製品	030	030	5	50		
			仕掛	020	020			5	5500
			製品	030	020	5	5500		

① 010の受入データを仕掛元帳に登録

② 020の受入データを仕掛元帳に登録

010→020の工順間受払を作成(仕掛元帳内で作成)

払出金額は、工順累積金額から按分して算出

- **工順累積金額 = (010の発生金額)**
  - 20000 = 20000
- **010払出金額 = 工順累積金額 × (010払出数 / 010受入数)**
  - 5500 = 20000 × (10 / 20)

③ 030の受入データを製品元帳に登録

020→030の工順間受払を作成(仕掛元帳→製品元帳)

払出金額は、工順累積金額から按分して算出

- **工順累積金額 = (020の発生金額 + 010→020受入金額)**
  - 11000 = 1000 + 10000
- **020払出金額 = 工順累積金額 × (020払出数 / 020受入数)**
  - 5500 = 11000 × (5 / 10)

２－２．工順仕掛かりの月またがり

受払い明細作成

- **工順間受払データ作成時**
  前工順の前月残がある場合、前月残と今月の受入から払出金額を算出する

出来高実績

実績日	工順	良品数	発生金額	処理区分
10/1	010	20	20000	工順仕掛(KJS)
10/2	020	10	1000	工順仕掛(KJS)
10/3	030	5	50	社内入庫(MR)

A　M　製品

工順 010→020→030

受払明細

		実績日	元帳種別	工順	前工順	受入数	受入金額	払出数	払出金額
1	KJS	10/1	仕掛	010	010	20	20000		
2	KJS	10/2	仕掛	020	020	10	1000		
			仕掛	010	010			10	10000
			仕掛	020	010	10	10000		
3	MR	10/3	製品	030	030	5	50		
			仕掛	020	020			5	5500
			製品	030	020	5	5500		

10月工順仕掛残

工順	残数量	残金額
010	10	10000
020	5	5500

① 010の受入データを仕掛元帳に登録

② 020の受入データを仕掛元帳に登録

010→020の工順間受払を作成(仕掛元帳内で作成)

払出金額は、工順累積金額から按分して算出

- **工順累積金額 = (010前月残金額 + 発生金額)**
  - 15450 = 10000 + 5450
- **010払出金額 = 工順累積金額 × (010払出数 / (010前月残数 + 受入数))**
  - 10300 = 15450 × (10 / (10 + 5))

③ 030の受入データを製品元帳に登録

020→030の工順間受払を作成(仕掛元帳→製品元帳)

払出金額は、工順累積金額から按分して算出

- **工順累積金額 = (020前月残金額 + 発生金額 + 010→020受入金額)**
  - 17000 = 5500 + 1200 + 10300
- **020払出金額 = 工順累積金額 × (020払出数 /(020前月残数 + 受入数))**
  - 11333 = 17000 × (10 /(5

出来高実績

実績日	工順	良品数	発生金額	処理区分
11/1	010	5	5450	工順仕掛(KJS)
11/2	020	10	1200	工順仕掛(KJS)
11/3	030	10	240	社内入庫(MR)

受払明細

		実績日	元帳種別	工順	前工順	受入数	受入金額	払出数	払出金額
1	KJS	11/1	仕掛	010	010	5	5450		
2	KJS	11/2	仕掛	020	020	10	1200		
			仕掛	010	010			10	10300
			仕掛	020	010	10	10300		
3	MR	11/3	製品	030	030	10	240		
			仕掛	020	020			10	11333
			製品	030	020	10	11333		

２－３．工順仕掛かりの工数のみ発生した場合

受払い明細作成

・工数のみ発生した場合、受入数=0で受入データを作成
前工順→自工順の受払データは作成しない

出来高実績

実績日	工順	良品数	不良数	発生金額	処理区分
10/1	010	0	0	500	工順仕掛(KJS)
10/2	010	20	0	20000	工順仕掛(KJS)
10/3	020	0	0	100	工順仕掛(KJS)
10/4	020	10	0	1000	工順仕掛(KJS)

A　M　製品

工順 010→020→030

受払明細

		実績日	元帳種別	工順	前工順	受入数	受入金額	払出数	払出金額
1	KJS	10/1	仕掛	010	010	0	500		
2	KJS	10/2	仕掛	010	010	20	20000		
3	KJS	10/2	仕掛	020	020	0	100		
4	KJS	10/4	仕掛	020	020	10	1000		
			仕掛	010	010			10	10250
			仕掛	020	010	10	10250		

① 010の受入データを仕掛元帳に登録
良品数=0のため、受入数=0 とする
② 010の受入データを仕掛元帳に登録
③ 020の受入データを仕掛元帳に登録
良品数=0のため、受入数=0 とする
010→020の工順間受払は作成しない
④ 020の受入データを仕掛元帳に登録
010→020の工順間受払を作成(仕掛元帳内で作成)
払出金額は、工順累積金額から按分して算出
・工順累積金額 ＝ (010の発生金額)
20500 ＝ 20000 + 500
・010払出金額 ＝ 工順累積金額 × (010払出数 / 010受入数)
10250 ＝ 20500 × (10 / 20)

２－４．工順仕掛かりの不良が発生した場合

受払い明細作成

・不良数は受入数に加算せず、金額のみ加算する
・前工順から工順間受払を作成するとき、受払数量は自工順の良品数＋不良数とする

出来高実績

実績日	工順	良品数	不良数	発生金額	処理区分
10/1	010	15	5	20000	工順仕掛(KJS)
10/2	020	8	2	1000	工順仕掛(KJS)
10/3	030	4	1	50	社内入庫(MR)

A　M　製品

工順 010→020→030

受払明細

		実績日	元帳種別	工順	前工順	受入数	受入金額	払出数	払出金額
1	KJS	10/1	仕掛	010	010	15	20000		
2	KJS	10/2	仕掛	020	020	8	1000		
			仕掛	010	010			10	13333
			仕掛	020	010	10	13333		
3	MR	10/3	製品	030	030	4	50		
			仕掛	020	020			5	8958
			製品	030	020	5	8958		

① 010の受入データを仕掛元帳に登録(受入数に不良数を加算しない)
② 020の受入データを仕掛元帳に登録(受入数に不良数を加算しない)
010→020の工順間受払を作成(仕掛元帳内で作成)
受払数は、020の良品数と不良数の合計
・010→020受払数 ＝ 020良品数 ＋ 不良数
10 ＝ 8 ＋ 2
払出金額は、工順累積金額から按分して算出
・工順累積金額 ＝ (010の発生金額)
20000 ＝ 20000
・010払出金額 ＝ 工順累積金額 × (010払出数 / 010受入数)
13333 ＝ 20000 × (10 / 15)
③ 030の受入データを製品元帳に登録(受入数に不良数を加算しない)
020→030の工順間受払を作成(仕掛元帳→製品元帳)
受払数は、030の良品数と不良数の合計
・020→030受払数 ＝ 030良品数 ＋ 不良数
5 ＝ 4 ＋ 1
払出金額は、工順累積金額から按分して算出
・工順累積金額 ＝ (020の発生金額 ＋ 010→020受入金額)
14333 ＝ 1000 ＋ 13333
・020払出金額 ＝ 工順累積金額 × (020払出数 / 020受入数)
5500 ＝ 14333 × (5 / 8)

２－５．工順仕掛かりの不良のみ発生した場合

受払い明細作成

- **不良のみ発生した場合、受入数=0で受入データを作成**
- **前工順から工順間受払を作成するとき、受払数量は自工順の不良数とする**

出来高実績

実績日	工順	良品数	不良数	発生金額	処理区分
10/1	010	20	0	20000	工順仕掛(KJS)
10/2	020	0	10	1000	工順仕掛(KJS)

A　**M　製品**

工順 010→020→030

受払明細

		実績日	元帳種別	工順	前工順	受入数	受入金額	払出数	払出金額
1	KJS	10/1	仕掛	010	010	20	20000		
2	KJS	10/2	仕掛	020	020	0	1000		
			仕掛	010	010			10	10000
			仕掛	020	010	10	10000		

① 010の受入データを仕掛元帳に登録

② 020の受入データを仕掛元帳に登録

良品数=0のため、受入数=0 とする

010→020の工順間受払を作成（仕掛元帳内で作成）

受払数は、010の不良数

・010→020受払数 ＝ 030不良数

5 ＝ 5

払出金額は、工順累積金額から按分して算出

・工順累積金額 ＝ （010の発生金額）

20000 ＝ 20000

・010払出金額 ＝ 工順累積金額 × （010払出数 ／ 010受入数）

10000 ＝ 20000 × （ 10 ／ 20 ）

２．工順仕掛かり

元帳作成

- **仕掛元帳の数量は、完成分の数量を集計する**
  （工順仕掛の数量はカウントしない）

出来高実績

実績日	工順	良品数	不良数	発生金額	処理区分
10/1	010	15	5	20000	工順仕掛(KJS)
10/2	020	8	2	1000	工順仕掛(KJS)
10/3	030	4	1	50	社内入庫(MR)

A　**M　製品**

工順 010→020→030

受払明細

	実績日	元帳種別	工順	前工順	受入数	受入金額	払出数	払出金額
KJS	10/1	仕掛	010	010	15	20000		
KJS	10/2	仕掛	020	020	8	1000		
		仕掛	010	010			10	13333
		仕掛	020	010	10	13333		
MR	10/3	製品	030	030	4	50		
		仕掛	020	020			5	8958
		製品	030	020	5	8958		

元帳

	品目	前月残数	前月残金額	受入数	受入金額	払出数	払出金額	当月残数	当月残金額	原価要素
仕掛元帳	A	0	500	0	34333	0	22291	0	12542	加工費

	品目	前月残数	前月残金額	受入数	受入金額	払出数	払出金額	当月残数	当月残金額	原価要素
製品元帳	A	3	3000	5	8958	0	0	8	11958	加工費

実績経費登録

受払い明細作成

- **実績経費情報を元に工場外製品元帳へ受入データを作成する**
- **直近の売上実績にのせて工場外製品から払出データを作成する**

経費実績

実績日	受注NO	品目	製番	経費	処理区分
10/1	J0001-001	A	S001	2000	経費(KIH)
10/2	J0001-001	A	S001	1000	経費(KIH)

A　**M**　**製品**

出荷・売上実績

実績日	受注NO	品目	製番	売上数	処理区分
10/3	J0001-001	A	S001	10	出荷(SI)
10/4	J0001-001	A	S001	10	売上(URG)

受払明細

	実績日	元帳種別	品目	製番	受入数	受入金額	払出数	払出金額	受注NO
KIH	10/1	工場外製品	A	S001	0	**2000**			J001-001
KIH	10/2	工場外製品	A	S001	0	**1000**			J001-001
SI	10/3	製品	A	S001			10	15000	J001-001
		工場外製品	A	S001	10	15000			J001-001
URG	10/4	工場外製品	A	S001			10	18000	J001-001

2000＋1000＋15000